



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月10日

上場会社名 日本カーボン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5302 URL <http://www.carbon.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 尚史
 問合せ先責任者 (役職名) 業務統括部長 (氏名) 藤川 浩史 TEL 03 (6891) 3730
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 2021年9月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	14,543	6.1	1,424	△36.7	1,502	△31.1	889	△24.3
2020年12月期第2四半期	13,710	△42.7	2,248	△74.7	2,178	△74.8	1,174	△79.1

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 1,233百万円 (149.5%) 2020年12月期第2四半期 494百万円 (△91.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	80.49	—
2020年12月期第2四半期	106.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第2四半期	70,373	51,064	62.6	3,989.45
2020年12月期	70,930	50,998	62.2	3,989.30

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 44,059百万円 2020年12月期 44,146百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	100.00	—	100.00	200.00
2021年12月期	—	100.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	11.9	3,300	9.5	3,600	0.4	2,000	10.5	180.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社、除外 ー社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	11,832,504株	2020年12月期	11,832,504株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	788,534株	2020年12月期	766,371株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	11,053,476株	2020年12月期2Q	11,064,445株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	2
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当連結会計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積もり)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大等により、個人消費に弱さが見られる等引き続き厳しい状況にあるものの、企業の生産活動や公共投資を中心とした設備投資の持ち直し等、基調としては改善の動きが続いています。感染の動向による影響は不透明ではありますが、今後も持ち直しの動きが続くことが期待されています。

世界経済では、感染症の抑制状況や経済対策に国ごとの濃淡はあるものの、米国では、ワクチン接種の普及や追加経済対策等により着実に改善が見られます。アジア地域は景気回復に向かい、欧州でもワクチン接種の進捗によりユーロ圏、英国ともに持ち直しの動きが見られ、総じて回復基調にあると言えます。

このような状況の中、当社グループの主要関連産業であります鉄鋼産業は、国内粗鋼生産は前年同四半期と比べてプラスとなり、感染症拡大前の2019年度の水準には及ばないものの、改善が見られました。また、半導体関連産業は、米国の対中国制裁や大手メーカーの火災にコロナ関連需要が重なり空前の需給ひっ迫状況が続きました。

こうした事業環境の中、当社グループは、生産効率の向上と原価および環境負荷の低減、販売力を高めるための販売網強化を推進してまいりました。また、企業市民として、コンプライアンス体制の一層の強化・拡充と最良の製品を通して広く社会に貢献すべく品質管理の徹底を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高145億4千3百万円（前年同四半期比6.1%増）、営業利益14億2千4百万円（前年同四半期比36.7%減）、経常利益15億2百万円（前年同四半期比31.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、8億8千9百万円（前年同四半期比24.3%減）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(炭素製品関連)

電極部門は、鉄鋼産業の生産に改善が見られた影響により、電極需給は徐々に改善しております。

ファインカーボン部門は、半導体関連市場の需要が下支えとなりました。リチウムイオン電池負極材は、車載向けの販売により、堅調な売上が維持されています。

この結果、売上高は133億8百万円（前年同四半期比8.3%増）、セグメント利益（営業利益）は11億9千3百万円（前年同四半期比38.5%減）となりました。

(炭化けい素製品関連)

炭化けい素連続繊維の製造・販売については、航空産業の悪化が影響し、販売量の低迷が継続しています。

この結果、売上高は7億7千1百万円（前年同四半期比23.2%減）、セグメント利益（営業利益）は1億6千7百万円（前年同四半期比3.5%減）となりました。

(その他)

その他の事業は、産業用機械の製造・販売が増加した結果、売上高は4億6千3百万円（前年同四半期比9.6%増）となりました。しかし、一部に収益性の低い受注があり、セグメント利益（営業利益）は5千2百万円（前年同四半期比58.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億5千7百万円減少し、703億7千3百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が18億3千4百万円、売上債権が7億1千5百万円増加しましたが、たな卸資産が14億7千7百万円、未収還付法人税等が13億4千8百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ3億8千4百万円減少し、426億4千4百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が3億2千6百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ1億7千2百万円減少し、277億2千9百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ6億2千2百万円減少し、193億9百万円となりました。流動負債は、賞与引当金が2億3千3百万円、未払費用が1億3千8百万円、未払法人税等が1億3百万円増加しましたが、仕入債務が2億7千2百万円、工場移転関連費用引当金が1億5千9百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ1億4千4百万円減少し、154億3千6百万円となりました。固定負債は、繰延税金負債が1億4千3百万円増加しましたが、長期借入金が6億2千5百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ4億7千8百万円減少し、38億7千3百万円となりました。

純資産は、自己株式の取得が9千7百万円、配当金の支払が11億6百万円ありましたが、その他有価証券評価差額金の増加が1億9千8百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が8億8千9百万円であったこと等により、前連結会計年度末に比べ6千5百万円増加し、510億6千4百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ18億3千4百万円増加し、162億9千万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な内容は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加額6億7千8百万円、法人税等の支払額4億8千4百万円、仕入債務の減少額3億円がありましたが、税金等調整前四半期純利益15億9千6百万円、たな卸資産の減少額15億1千8百万円、法人税等の還付額13億2千6百万円、減価償却費11億3千2百万円等により、41億1千7百万円の収入（前年同四半期 33億1百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入5億4千4百万円がありましたが、有形固定資産の取得による支出9億8千9百万円等により、4億5千8百万円の支出（前年同四半期 30億2千万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額11億4百万円および長期借入金の返済による支出6億3千5百万円等により、18億7千4百万円の支出（前年同四半期 11億7千万円の支出）となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しております。そのため、現時点において2021年2月10日に発表いたしました2021年12月期の通期の業績予想は修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,600	16,435
受取手形及び売掛金	9,228	9,944
商品及び製品	9,366	8,182
仕掛品	4,524	4,757
原材料及び貯蔵品	3,469	2,943
未収還付法人税等	1,350	2
その他	509	401
貸倒引当金	△20	△21
流動資産合計	43,028	42,644
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,227	17,325
減価償却累計額及び減損損失累計額	△9,806	△10,043
建物及び構築物(純額)	7,420	7,282
機械及び装置	45,516	46,936
減価償却累計額及び減損損失累計額	△37,778	△38,520
機械及び装置(純額)	7,737	8,415
車両運搬具及び工具器具備品	3,293	3,342
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,810	△2,894
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	483	448
土地	3,524	3,536
建設仮勘定	968	126
有形固定資産合計	20,135	19,809
無形固定資産	198	279
投資その他の資産		
投資有価証券	5,026	4,976
繰延税金資産	334	334
その他	2,209	2,332
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	7,567	7,640
固定資産合計	27,902	27,729
資産合計	70,930	70,373

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,321	3,048
短期借入金	9,425	9,415
未払費用	587	726
未払法人税等	466	569
賞与引当金	146	379
役員賞与引当金	43	21
受注損失引当金	13	—
工場移転関連費用引当金	159	—
その他	1,418	1,274
流動負債合計	15,580	15,436
固定負債		
長期借入金	2,562	1,937
繰延税金負債	422	566
退職給付に係る負債	771	771
役員退職慰労引当金	52	52
役員株式給付引当金	70	77
環境対策引当金	28	28
資産除去債務	62	62
その他	380	376
固定負債合計	4,351	3,873
負債合計	19,931	19,309
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,402	7,402
資本剰余金	7,857	7,857
利益剰余金	29,287	29,070
自己株式	△1,913	△2,010
株主資本合計	42,634	42,320
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,542	1,740
為替換算調整勘定	53	75
退職給付に係る調整累計額	△84	△77
その他の包括利益累計額合計	1,511	1,738
非支配株主持分	6,852	7,004
純資産合計	50,998	51,064
負債純資産合計	70,930	70,373

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	13,710	14,543
売上原価	9,303	11,093
売上総利益	4,406	3,449
販売費及び一般管理費	2,157	2,025
営業利益	2,248	1,424
営業外収益		
受取配当金	69	51
為替差益	—	89
受取保険金	68	—
その他	43	75
営業外収益合計	181	216
営業外費用		
支払利息	35	31
持分法による投資損失	81	1
為替差損	8	—
固定資産除却損	45	0
休止固定資産減価償却費	72	74
その他	9	29
営業外費用合計	252	138
経常利益	2,178	1,502
特別利益		
投資有価証券売却益	20	179
特別利益合計	20	179
特別損失		
火災損失	247	—
工場移転関連費用	—	84
特別損失合計	247	84
税金等調整前四半期純利益	1,952	1,596
法人税、住民税及び事業税	666	568
法人税等調整額	△26	46
法人税等合計	640	614
四半期純利益	1,311	981
非支配株主に帰属する四半期純利益	137	92
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,174	889

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	1,311	981
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△819	207
為替換算調整勘定	△4	36
退職給付に係る調整額	6	6
その他の包括利益合計	△817	251
四半期包括利益	494	1,233
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	365	1,152
非支配株主に係る四半期包括利益	129	80

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,952	1,596
減価償却費	1,050	1,132
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	21	0
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5	0
受取利息及び受取配当金	△69	△52
受取保険金	△68	-
工場移転関連費用引当金の増減額 (△は減少)	△169	△159
投資有価証券売却損益 (△は益)	△20	△179
固定資産除却損	45	0
火災損失	247	-
支払利息	35	31
持分法による投資損益 (△は益)	81	1
売上債権の増減額 (△は増加)	4,664	△678
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△691	1,518
未収入金の増減額 (△は増加)	128	275
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,880	△300
未払金の増減額 (△は減少)	△179	△40
未払費用の増減額 (△は減少)	77	139
その他	△288	△53
小計	4,939	3,232
利息及び配当金の受取額	69	52
利息の支払額	△35	△29
法人税等の還付額	-	1,326
法人税等の支払額	△1,751	△484
保険金の受取額	78	20
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,301	4,117
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,992	△989
無形固定資産の取得による支出	△55	△10
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	31	544
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,020	△458
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	700	-
長期借入金の返済による支出	△615	△635
自己株式の純増減額 (△は増加)	△1	△97
配当金の支払額	△1,106	△1,104
非支配株主への配当金の支払額	△147	△37
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,170	△1,874
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	50
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△890	1,834
現金及び現金同等物の期首残高	17,707	14,455
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,816	16,290

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当連結会計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役等に対する株式給付信託 (BBT) 導入)

当社は、取締役等の中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託 (BBT)」を導入しております。

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成27年3月26日)に準じております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、取締役等に対して、当社が定める役員株式給付規定に従って、当社株式および当社株式を時価で換算した金額相当の金銭が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価格(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当第2四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額は213百万円、株式数は609百株、当第2四半期連結会計期間の期中平均株式数は514百株となります。また、1株当たり情報の算定上、控除する自己株式に含めております。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,282	1,004	422	13,710	-	13,710
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	6	585	592	△592	-
計	12,283	1,011	1,008	14,303	△592	13,710
セグメント利益	1,940	173	127	2,240	7	2,248

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,308	771	463	14,543	-	14,543
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	6	847	853	△853	-
計	13,308	778	1,310	15,397	△853	14,543
セグメント利益	1,193	167	52	1,413	10	1,424

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。